JIMSA CPC大会ルール（2015年9月現在）

JIMSA CPC大会は以下のルールで開催いたします。

**＜発表内容＞**

プレゼンテーションを作成し、症例について英語で発表する。その際、必ず病理学的所見を含めること。

発表の手順としては、

1．患者情報（入院までの経緯、家族歴、既往歴など）の提示

2．検査データ（血液生化学検査、胸部X線などの検査）の提示

3．治療経過の提示

4．オーディエンス、ジャッジからの質疑応答（1回目）

5．病理解剖結果（肉眼・組織とも）の提示

6．最終的な診断名の開示

7．フローチャートの提示

8．オーディエンス、ジャッジからの質疑応答（2回目）

発表終了後、ジャッジの先生から講評をいただきます。

**＜発表形式＞**

発表チームの人数は問いません。3人前後が妥当です。

その他の形式は自由とします。

発表時間：２５分　質問：１５分

・臨床ターム→質問→病理ターム→質問という流れとする。

・発表時間がオーバーした場合は減点となります、５分を超えた段階で発表を打ち切ります。

・症例のフローチャートをプレゼンテーションに盛り込むこと。

・質問は日本語または英語で行うこととします。回答者は質問に対して同一言語で回答してください。

**＜提出書類について＞**

CPCレポート　日本語版・英語版各４枚(最大計８枚)

＜採点基準＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| CPC大会採点票 | | | | |
| Clinical Part(臨床) 計20 | Pathologcal Part(病理) 計20 | English（英語）  計40 | Q&A（質疑応答） 計10 | プレゼンテーション  計10 |
| スライドの完成度5 | スライドの完成度5 | 文法10 | 適切な応答10 | プレゼンテーションの質・能力 10 |
| 症例の理解5 | 症例の理解5 | 話し方(発音・イントネーション・抑揚)10 |  |
| 症例の考察5 | 症例の考察5 | 単語、言い回しの選択10 |  |  |
| CPCレポート5 | CPCレポート5 | 原稿の暗記10 |  |  |

の合計100点満点。

＜その他注意事項＞

・症例を入手し、プレゼンテーションとして使用する際は、必ず病理学講座の先生の許可を得てください。書籍から病理画像を引用する際も、発行元の会社に許可をいただいた上で使用してください。

・症例は患者さんの個人情報であるため、医療者としての自覚を持ち、守秘義務を遵守してください。